

令和7年度

事業概要

社会福祉法人 昭徳会

特別養護老人ホーム	小原安立
高齢者グループホーム	小原安立

社会福祉法人 昭徳会 基本理念

し あ わ せ
「幸福」

社会福祉法人 昭徳会 基本方針

- 1 ひとりひとりに、思いやりの心をもって接します
- 2 ひとりひとりを尊重し、その人にあった支援、援助をします
- 3 ひとりひとりを大切に、まごころで接します
- 4 わたしたちは、すべての人の幸福を目指し、たゆみなく援助技術の向上に努めます
- 5 わたしたちは、お互いに助け合い、よりよい生活ができるよう努めます

《 職 員 行 動 指 針 》

(対人援助)

第 1 条 いつも笑顔で接します

笑顔は、「すべての人」「すべての時」「すべての場面」において、相手を豊かで快適な気持ちにさせることができます。私たちは、笑顔こそ最良の行動と考え、いつも最高の笑顔を社会に提供し、未来を明るく照らす存在になることを目指します。

(思いやり 素直さ)

第 2 条 謙虚な姿勢で接します

人の話に耳を傾け、分からない事は聞き、自分に非がある時は「すみません」「ごめんなさい」が言えること。
すべてに共通する気持ちは素直さです。素直な気持ちは、誠実な人格形成につながり、良好な人間関係づくりに大切です。

(共 感)

第 3 条 同じ目線で向き合います

関わる全ての方に対し誠実な姿勢で「向き合い」、「共に喜び」「共に悲しみ」「共に考え」、またその全てを「認めること」や「受け入れること」が相手への尊重・共感に繋がります。

(仕事への姿勢)

第 4 条 いつも前向きに取り組めます

不平不満を口にする、3つの“無い”(変わらない・創られない・生み出さない)が増えるだけです。
嫌なことや辛いことも向き合ってみて、ありのままを受け止めることができたその先に、成長があるはずです。
未来の私たちに悔いを残さないよう、前を向いて歩きます。

(自己研鑽)

第 5 条 学ぶ姿勢を持ち続けます

「学ぶ」ということは、技術・知識だけではなく、言葉遣い、気配り等、人間性を高めることも対象になっています。
ミスの無い確実な仕事をするためにも、常に学んで自己を高めていくことが大切です。

(地域貢献)

第 6 条 地域との繋がりを大切にします

地域に目を向け、地域からの役割を理解し、地域のために尽くします。

(健康管理)

第 7 条 心と身体を大切にします

より良いサービスを提供するためには、心身の健康を保つことも大切な仕事です。

(問題解決)

第 8 条 小さな気づきを大切にします

目の前の小さな問題に気づかず放置すれば、後で大きな問題になります。
普段の仕事の中であたりまえと思わず、どんな小さなことでも自ら気づくことが、問題解決の最善策です。

(連携 チームワーク)

第 9 条 チーム力を高めます

目的を共有し、相互に支え合い、円滑なコミュニケーションを図ることが大切です。

(感 謝)

第 10 条 感謝の気持ちで接します

感謝には相手を労い・敬う言葉がたくさん含まれています。感謝を伝え合うことでたくさんの変化ももたらしてくれます。どの様な状況であっても、まずは「ありがとう」という気持ちで向き合います。

目次

1	小原安立が目指すユニットケアのカタチ	1
2	令和7年度事業計画	2
3	施設の名称所在地	3
4	事業目的	3
5	設置経営	3
6	施設認可、指定及び事業開始	3
7	規模及び構造	4
8	組織図	4
9	令和7年度会議、委員会体制図	5
10	職員の配置状況	6
11	勤務体制表	7
12	入居者の状況	8
13	受診状況等	10
14	給食の状況	13
15	在宅福祉サービス 短期入所生活介護	14
16	高齢者グループホームの事業	15
17	在宅福祉サービス 認知症対応型通所介護	17
18	各種委員会等活動報告	18
19	職員種別会議、研修参加状況	19
20	防災対策状況	23
21	令和6年度事業報告	24

1 小原安立が目指すユニットケアのカタチ

(平成26年4月1日制定)

(1) ユニットケア推進目標

ひとり一人の入居者が「幸福」を実感できる「暮らし」の実現をめざします。

(2) ユニットケア推進のための指針

- ① 馴染みの関係の中で、「暮らし」の個別支援ができるサービス提供体制（ユニット職員固定配置など）をつくる。

- ・1ユニット≒10名の生活単位ごとに、職員を固定配置する。
- ・勤務表はユニット毎に作成する。
- ・入居者の暮らしを知り、暮らしに沿った職員配置を行う。

- ② ひとり一人の入居者の意思や人格、生活習慣や好みを尊重し、これまでの「暮らし」が継続できるような居住・生活環境をつくる。

- ・これまでの「生活習慣」や「好み等」を知り、入居者の「望む」暮らしを支援する。
- ・「住まい」と感じられるユニット空間・環境をつくる。

- ③ 24時間の「暮らし」が保証できる仕組みをつくる。

- ・入居者の「暮らし」と「支援内容」を24時間シートで明確にし、他職種協働で実践・評価・改善する。

2 令和7年度 事業計画書(小原安立)

1. 事業運営基本計画(事業目標)

- (1) 個別サービスの提供及び品質向上に向けた取り組みを推進する
- (2) 職員の定着や後継者確保につながる教育、採用活動の推進
- (3) 職員満足度向上、心理的安全性を感じられる職場環境づくり
- (4) 事業継続の観点から健全な経営を目指す(稼働目標:入所97%、居宅75%)
- (5) コンプライアンス意識を高める職員教育の推進

2. 具体的計画

- (1) 個別サービスの提供及び品質向上に向けた取り組みを推進する
 - 1) 不適切ケアの予防、品質向上を目的に、接遇マナー研修(外部講師招聘)を実施する。
 - 2) ご利用者へのサービス確保、職員の「やりがい」を生み出すため、施設サービス計画の短期目標に「願いや希望」を明記し実践する。
 - 3) 来年度再受審予定の第三者評価へ向けて、前回C項目の改善に向けて取り組む。
 - 4) ご入居者の身元引受人を対象とした利用満足度調査を継続実施する。
- (2) 職員の定着や後継者確保につながる教育、採用活動の推進
 - 1) 職員の専門性向上の観点から、下記の研修参加を促進する。
①ユニットリーダー研修、②認定特定行為業務従事者(喀痰吸引研修)、③バーセルインデックス研修、④認知症介護(基礎、実践者)研修、⑤育成就労関係(管理者、指導員、生活指導員)研修、⑥全国、東海北陸ブロック、愛知県で開催される老人福祉施設協議会研究大会、⑦アンガーマネジメント研修
 - 2) 業務効率化及び職員の負担軽減、ご利用者個室での事故防止を目的として、見守り機器の導入を進める。
 - 3) ホームページの更新(活動報告や、採用促進につながる情報等)頻度向上を目的に、現ページの更新方法の簡素化等、システムの見直しを行う。
- (3) 職員満足度向上、心理的安全性を感じられる職場環境づくり
 - 1) 職員の学びの機会確保、資質向上を目的に年1回研修(web受講、法人内含む)を受講する機会を作る。
 - 2) 職員休憩室の経年劣化部分の修繕と、環境改善を目的とした改修工事に向けて、改修業者の選定を行う。
 - 3) 基本的な動作や、姿勢、観察点を明記し、サービスを平準化するための介護マニュアル(食事、入浴、排泄)の作成計画を立てる。
- (4) 事業継続の観点から健全な経営を目指す(稼働目標:入所97%、居宅75%)
 - 1) 豊田市介護サービス機関連絡協議会へ参加し市内居宅介護支援事業所へ空床状況改善に向けた広報活動、情報交換を行う。
 - 2) 経営委員会内で、経年劣化により修繕の必要な個所の実施計画(大規模修繕を含む)を立てる。
 - 3) 報告書作成作業の削減を目標に、「文字起こしソフト」を試行導入する等、情報収集をし、導入商品を選定する。
- (5) コンプライアンス意識を高める職員教育の推進
 - 1) 理念教育として、冊子「基本理念とその背景」のオンデマンド研修を全職員が受講する。
 - 2) 職員行動指針に基づき、職員同士が相互に長所を発見して「褒め合う・認め合う・学び合う」スマイルカードの取り組みを継続し職員会議で模範的行動に対して表彰を行う。
 - 3) 役職者を対象としたカスタマーハラスメントに関する研修を企画、実施し見識を深める。

3 施設の名称及び所在地

(1) 名 称(サービス種類)

- ① 特別養護老人ホーム 小原安立
(介護老人福祉施設:ユニット型)
- ② 小原安立短期入所生活介護事業所(併設)
(短期入所生活介護事業:併設型ユニット型)
- ③ 高齢者グループホーム 小原安立
(認知症対応型老人共同生活介護事業)
- ④ 小原安立共用型デイサービス事業所(併設)
(認知症対応型通所介護事業)

(2) 所在地

〒470-0564 愛知県豊田市沢田町座内22番地

4 事業目的

介護保険法による要介護認定を受けられている方が、可能な限り居宅においても
“その人らしい”自立した生活が継続して営めるよう、サービスの提供を行い支援する。

5 設置経営

社会福祉法人 昭 徳 会

6 施設認可、指定及び事業開始

(1) 特別養護老人ホーム 小原安立

認 可 年 月 日 平成15年 3月28日
指 定 年 月 日 平成15年 4月 1日(介護保険事業所番号 2376100182)
事業開始年月日 平成15年 4月 4日

(2) 小原安立短期入所生活介護事業所(併設)

指 定 年 月 日 平成15年 4月30日(介護保険事業所番号 2376100190)
事業開始年月日 平成15年10月14日

(3) 高齢者グループホーム 小原安立

指 定 年 月 日 平成15年 3月28日(介護保険事業所番号 2376100174)
事業開始年月日 平成15年 4月 4日

(4) 小原安立共用型デイサービス事業所(併設)

指 定 年 月 日 平成28年 5月 1日(介護保険事業所番号 2393000373)
事業開始年月日 平成28年 5月 1日

7 規模及び構造

(1) 利用定員

- ① 特別養護老人ホーム 80名 (8ユニット×10名)
② 短期入所生活介護事業所(併設) 6名
③ 高齢者グループホーム 6名
④ 共用型デイサービス事業所(併設) 3名

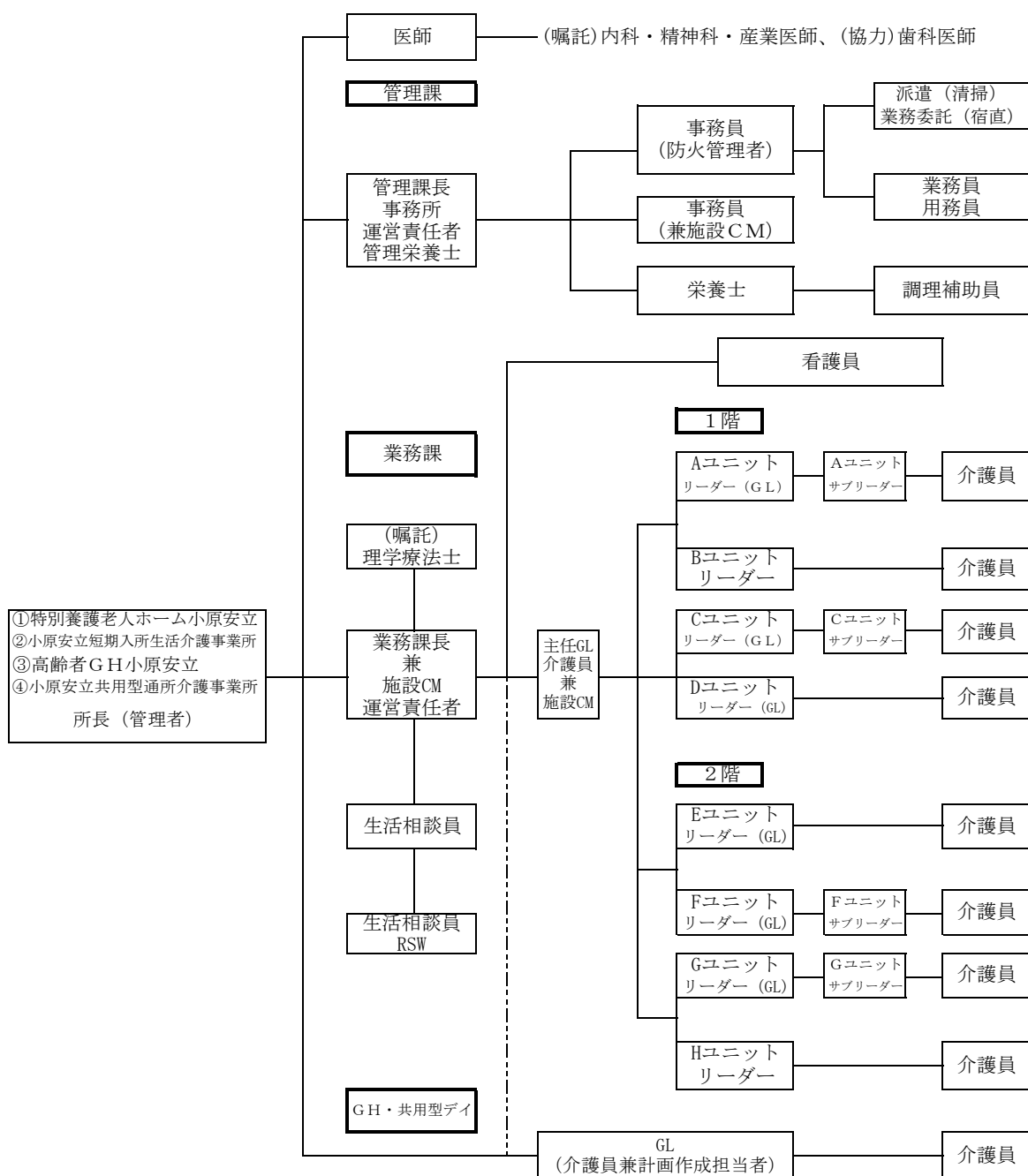
(2) 敷地面積 44,308m²

(3) 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

(4) 建物延面積 4,625.58m²

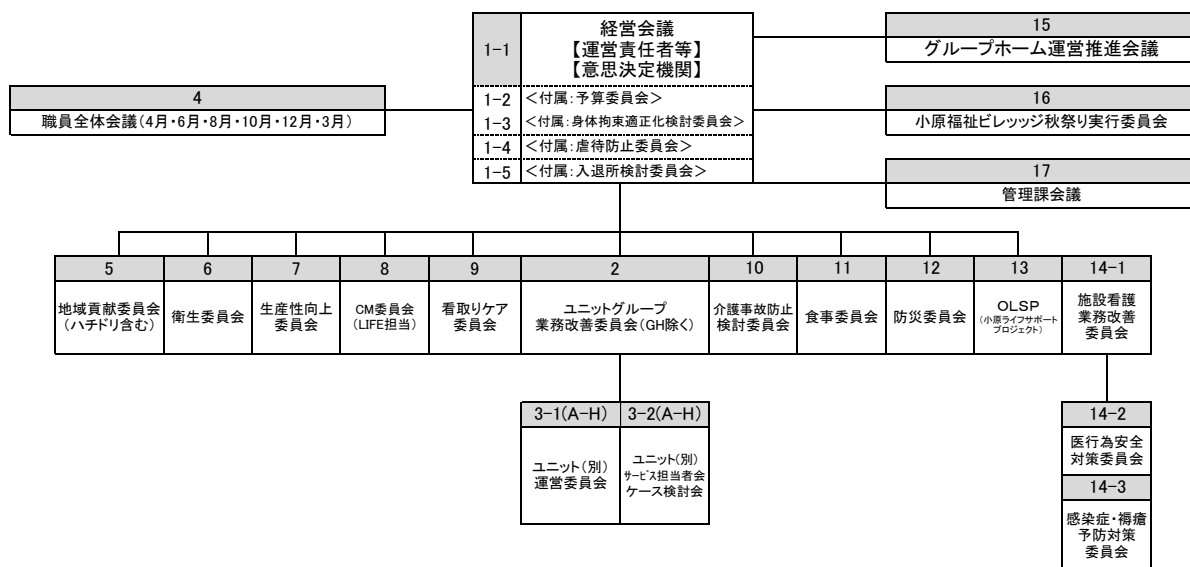
- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| ① 特別養護老人ホーム | 4,224.79㎡(短期入所生活介護事業との共用含む) |
| ② 短期入所生活介護事業所(併設) | 103.05㎡(居室・食堂専用面積) |
| ③ 高齢者グループホーム | 297.74㎡(共用型事業との共用含む) |

8 組織図



9 小原安立会議・委員会体制図

(令和7年度)



No	会議・委員会等の名称	開催頻度	時間(分)	分掌業務
1-1	経営会議	月1回	180	●法人情報共有、施設全体の経営課題、事業目標進捗管理、人材育成(研修)など。
1-2	付属: 予算委員会	経営会議内	180	●管理会計学習、予算管理に関すること。
1-3	付属: 身体拘束適正化検討委員会			●身体拘束防止、適正化に関すること。
1-4	付属: 虐待防止委員会			●虐待防止、人権擁護、不適切ケアは正に関すること。
1-5	付属: 入退所検討委員会			●入退所者の報告、協議、調整、加算取得状況に関すること。
2	ユニットグループ業務改善委員会	月1回	90	●各ユニットの業務改善に関すること。
3-1	ユニット(別)運営委員会		150	●各ユニットの運営に関すること、ユニット運営・管理に関する情報の共有化、LIFEのフィードバックに関すること。
3-2	ユニット(別)サービス担当者会、ケース検討会		150	●ご入居者のサービス支援に関すること、個別のケースに関すること。
4	職員会議	年6回	120	●年度の運営方針、総括、周知徹底事項の確認、法定研修に関すること。
5	地域貢献委員会(ハチドリ活動含む)	月1回	60	●地域貢献・施設PR、ハチドリチャレンジに関すること。
6	衛生委員会	月1回	60	●職員の健康管理・労働安全衛生に関すること。(健診、腰痛対策、メンタルヘルス、5S活動)
7	生産性向上委員会	月1回	60	●テクノロジーの導入、役割分担の見直し、職場環境改善、全体に関わる業務改善に関すること。
8	ケアマネジャー(CM)委員会	月1回	60	●自立支援、ICF、認知症ケア、個別希望の実現を踏まえた施設サービス計画の立案・評価等の体制検討・推進、ほのぼのの入り、LIFE運用に関すること。
9	看とりケア委員会(※CM委員会と同時開催)			●看取りケアに関する指針の見直し、研修企画、盆供養に関すること。
10	介護事故防止検討委員会	月1回	60	●事故防止のための指針、事故分析に関すること。
11	食事委員会	月1回	60	●クックチル提供体制の構築、「楽しく・美味しく食べる」を実現する企画検討、食中毒の注意喚起等に関すること。
12	防災委員会	月1回	60	●施設全体の防火管理・訓練、備蓄品・整備品の整備・管理等に関すること。防災訓練、BCPの作成、研修。訓練に関すること。
13	OLSP(小原ライフサポートプロジェクト)	月1回	60	●技能実習生、特定技能、外国人雇用に関すること。(生活支援、実習状況確認など)
14-1	施設看護業務改善委員会	月1回	120	●全体の看護業務に係ること。
14-2	医行為安全対策委員会			●医療行為全般に関すること。
14-3	感染症・褥瘡予防対策委員会			●感染症対策(訓練含む)、BCP作成、研修、訓練に関すること。
15	GH運営推進会議	年6回	60	●GHの運営全般に係る事項の協議・決定、第三者評価に関すること。
16	小原福祉ビレッジ秋まつり実行委員会	適宜	120	●小原福祉ビレッジの秋祭りに実施に関すること。
17	管理課会議	月1回	60	●管理課の情報共有、修繕実施状況、業務改善に関すること。

10 職員の配置状況

(1) 特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業

(R7.4.1現在)

職 種	員 数	内 訳		常勤換算 後の人員	指定基準	備 考
		常 勤	非常勤			
施 設 長	1	1		1	1	GH(所長)と兼務
医 師	2		2	0.1	1	内科・精神科
生 活 相 談 員	2	1	1	1.5	1	
介 護 員	40	31	9	42.5	29	特定技能 技能実習含む
看 護 員	5	3	2	4.7		
機能訓練指導員	1		1	0.1	1	理学療法士
介護支援専門員	[3]	[3]				介護員・看護員・事務員
栄 養 士	2	2		2	1	
調 理 員	7		7	2.5		
事 務 員	3	2	1	2.5	—	
そ の 他	5	0	5	2.6	—	業務員 用務員
計	68	40	28	54.8	—	入居者:職員(看・介護) 比率(1.88:1)

[]は他職種との兼務

※ ユニット別介護員配置状況

ユニット名		入所定員	介護員数	内 訳		常勤換算後 の人員	入居者:職員比率
				常 勤	非常勤		
ひばりヶ丘 1階北	A	10(1)	5	4	1	9.8	2.04:1
	B	10(1)	5	4	1		
さくらヶ丘 1階南	C	10(1)	5	3	2	8.9	2.25:1
	D	10(1)	5	4	1		
さつき通り 2階北	E	10	5	4	1	8.9	2.25:1
	F	10(1)	5	4	0		
ささゆり通り 2階南	G	10(1)	5	4	1	9.2	2.17:1
	H	10	5	3	2		
計		80(6)	40	30	9	36.8	

()は短期入所利用者数で別掲。

(R7.4.1現在)

〔 〕は他職種との兼務

職種	勤務区分	時																								勤務時間	休憩時間	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			1
特別養護老人ホーム	介護員	早出																									6:30	11:30 - 13:30 (内1時間)
																											7:00	
																											8:00	
		日勤																									8:30	12:00 - 14:00 (内1時間)
																											9:00	
																											9:30	
																											10:00	
																											11:30	
																											12:00	
		遅出																									12:30	15:00 - 17:00 (内1時間)
																											13:00	
																											14:00	
		夜勤																									4:30	24:30 - 4:30 (内2時間)
																											7:00	
																											7:00	
		午前半日 (A)																									8:00	12:00 - 13:00
																								8:30				
																								9:00				
午後半日 (P)																									13:00	17:00 - 18:00		
																									13:30			
																									14:00			
高齢者グループホーム	介護員	早出																									7:00	11:00 - 12:00
		日勤																									8:30	
		遅出																									9:00	
		夜勤																									4:00	
看護員	日勤																									8:30	12:00 - 13:00	
																										9:00		
																										10:00		
遅出																									10:00	13:00 - 14:00		
日勤																									9:00			

勤務時間
休憩時間

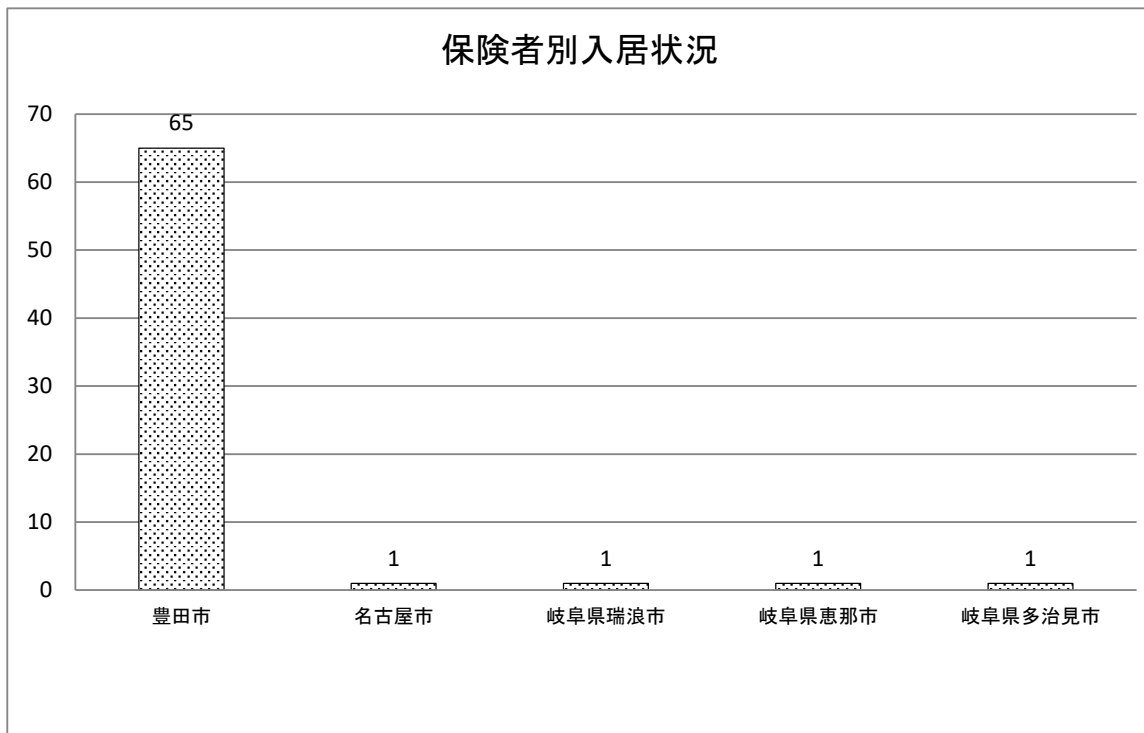
12 入居者の状況

(1) 保険者別入居状況

(R7.4.1現在 単位:人)

性別 保険者	男	女	計	構成比
豊田市	20	45	65	94.4%
名古屋市	0	1	1	1.4%
岐阜県多治見市	0	1	1	1.4%
岐阜県瑞浪市	0	1	1	1.4%
岐阜県恵那市	0	1	1	1.4%
計	20	49	69	100%

* 豊田市内からの入居者は前年より増加して95%程度を占めており、地元の小原地区の入居者は全体の約50%と半数を占めている。入居者の性別比率は、男性 29%、女性 71%である。
待機者の94%は豊田市在住の方である。
待機者 男性 14名 女性 22名 計 36名



(2) 身元引受人状況

(R7.4.1現在 単位:人)

区分 性別	配偶者	子	兄弟姉妹	子の配偶者	甥姪	孫	その他	計
男	3	40	3	3	0	0	0	49
女	3	7	1	7	0	0	2	20
計	6	47	4	10	0	0	2	69

(3) 性別、年齢別状況

(R7.4.1現在)

	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上	計(人)	構成比
要介護度1										
要介護度2										
要介護度3	1		1 (1)	1	5 (2)	4 (2)	3 (2)	5 (4)	20 (11)	29.0%
要介護度4		1	2 (1)	2 (2)	3 (1)	5 (5)	10 (9)	6 (5)	29 (23)	42.0%
要介護度5					6 (4)	6 (4)	4 (4)	4 (3)	20 (15)	29.0%
計	1	1	3 (2)	3 (2)	14 (7)	15 (11)	17 (15)	15 (12)	69 (49)	100.0%

*65歳未満の入居者は、介護保険法に定める特定疾病の方である。一方、最高齢者は102歳の方である。

男 → 83.6 歳

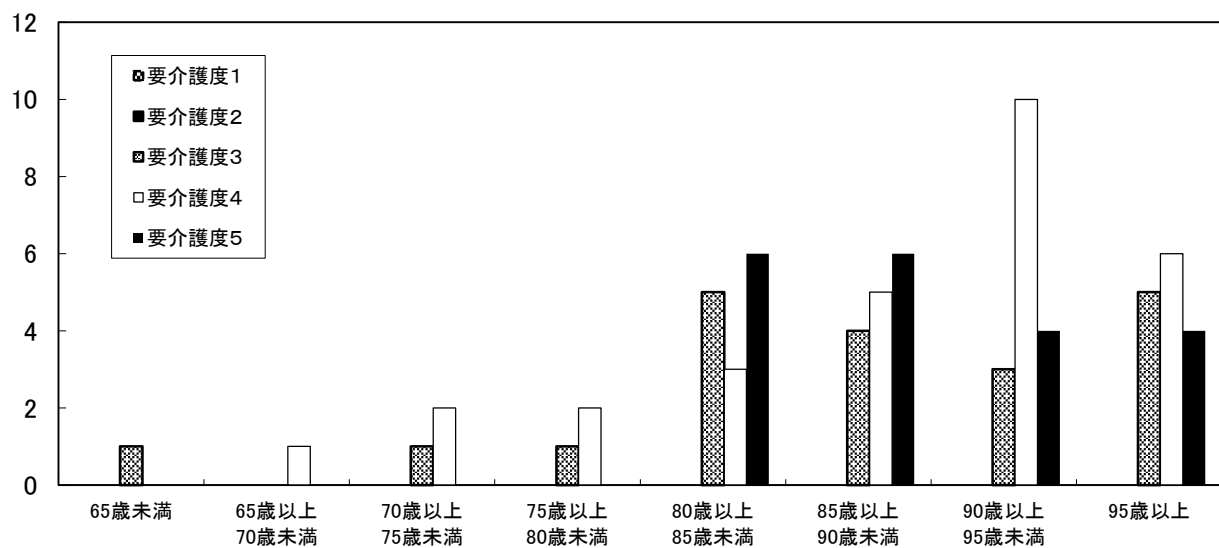
()は女性的人数

平均年齢

全体 → 88.0 歳

女 → 89.9 歳

平均要介護度 3.88



(4) 入退所状況

経路	区分 性別	入 居								退 居					
		在 宅 家族等と同居	一 人 暮 ら し	介 護 福 祉 施 設	介 護 保 健 施 設	介 護 療 養 施 設	医 療 機 関	社 会 福 祉 施 設	そ の 他	計	死 亡	医 療 機 関	家 庭 復 帰	福 祉 施 設	そ の 他 (老 健 等)
計	男	4人	0人	1人	1人	2人	0人	0人	0人	8人	5人	3人	0人	0人	0人
	女	3	2	2	2	1	3	0	0	13	16	4	0	0	0

13 受診状況等

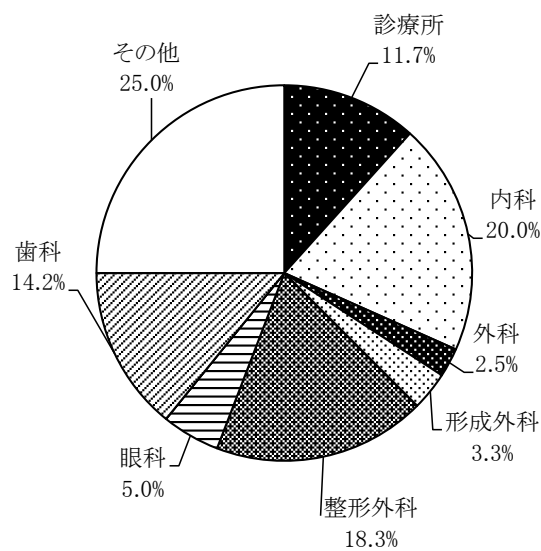
(令和6年度)

月別診療科別通院状況一覧表

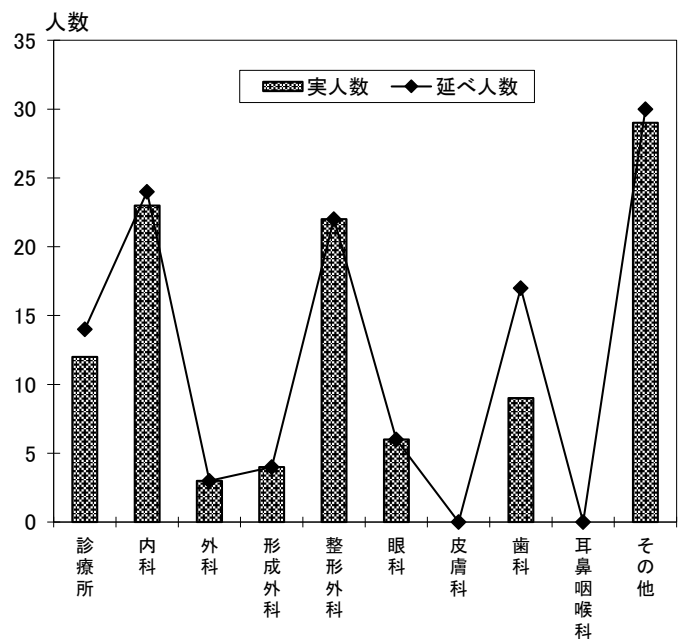
(単位:人)

	診療所		内科		外科		形成外科		整形外科		眼科		皮膚科		歯科		耳鼻咽喉科		その他		計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
4月	1	1	2	2					4	4	1	1							2	2	10	10
5月	1	1	1	1					2	2					1	2			1	1	6	7
6月			1	1	1	1			1	1	1	1			2	8			1	1	7	13
7月			2	2			2	2	3	3									3	3	10	10
8月	1	1	1	1			1	1	1	1					1	1			5	5	10	10
9月	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2					1	1					8	8
10月	2	4	2	2					2	2					1	2			7	7	14	17
11月	1	1	3	3							1	1							1	2	6	7
12月	1	1	3	3					3	3					2	2			2	2	11	11
1月	3	3	2	2					3	3	1	1							4	4	13	13
2月	1	1	4	5	1	1			1	1	1	1							2	2	10	11
3月											1	1			1	1			1	1	3	3
合計	12	14	23	24	3	3	4	4	22	22	6	6			9	17			29	30	108	120
1ヶ月平均	1	1.17	1.92	2	0.25	0.25	0.33	0.33	1.83	1.83	0.5	0.5			0.75	1.42			2.42	2.5	9	10

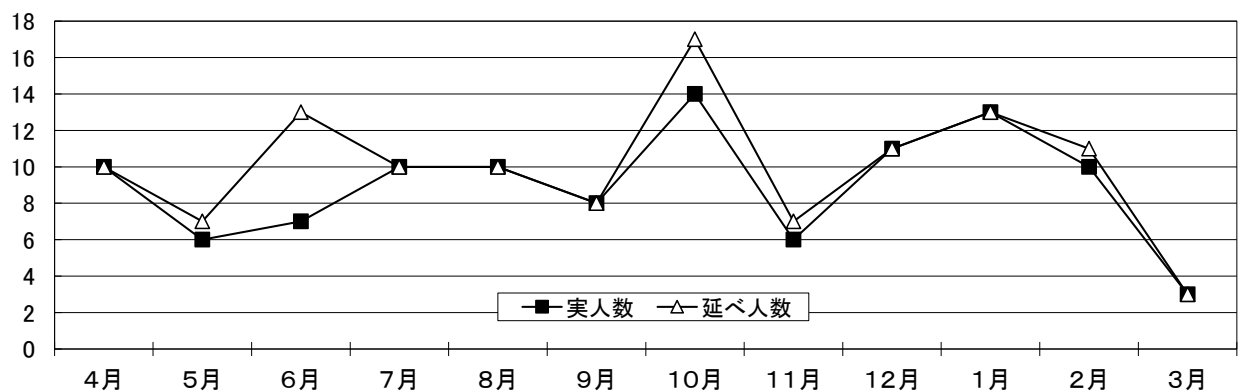
通院者疾病比率



診療科別通院状況



月別通院状況

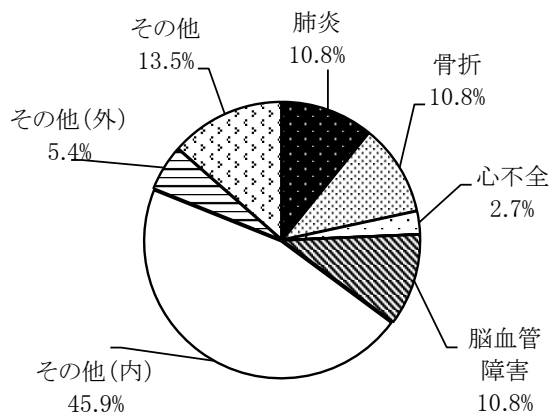


入院期間・病名等集計結果

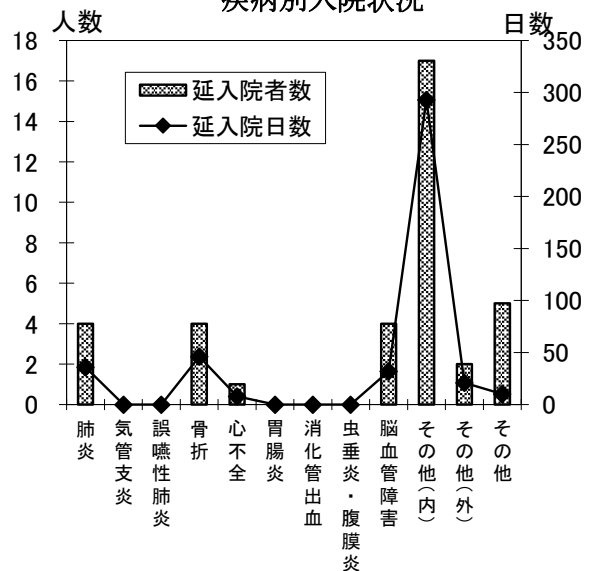
(令和6年度)
(単位：人)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実入院者数			0	2	1	2	5	0	1	1	1	4	3	1	21
延入院者数			0	2	3	3	5	4	2	3	1	5	5	4	37
延入院日数			0	25	44	23	0	39	62	7	8	54	90	51	403
平均入院日数			0.0	12.5	14.7	7.7	0.0	9.8	31.0	2.3	8.0	10.8	18.0	12.8	10.9
病名	肺炎	延入院者数	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	4
		延入院日数	0	0	0	0	20	2	0	5	0	9	0	0	36
	気管支炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	誤嚥性肺炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	骨折	延入院者数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	4
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	31	1	0	1	13	0	46
	心不全	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8
	胃腸炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消化管出血	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	虫垂炎・腹膜炎	延入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延入院日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳血管障害	延入院者数	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
		延入院日数	0	15	3	0	2	0	0	0	0	0	12	0	32
	その他(内)	延入院者数	0	0	1	1	2	2	1	0	0	3	3	4	17
		延入院日数	0	0	30	16	20	36	31	0	0	44	65	51	293
	その他(外)	延入院者数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		延入院日数	0	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
	その他	延入院者数	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	5
		延入院日数	0	0	0	7	1	1	0	1	0	0	0	0	10
	計	延入院者数	0	2	3	3	5	4	2	3	1	5	5	4	37
		延入院日数	0	25	44	23	43	39	62	7	8	54	90	51	446
医療機関	地域医療センター		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	足助病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5
	豊田厚生病院		0	2	3	2	5	4	2	3	1	4	3	2	31
	斉藤病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	トヨタ記念病院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	2	3	3	5	4	2	3	1	5	5	4	37

入院疾病比



疾病別入院状況



令和6年度 定期業務

月	業務内容
4月	新人医療勉強会(急変時の対応を含む)・向上研修(感染症)
5月	特定業務健康診断(夜勤業務者対象) 吸引・手洗い講習・予防着脱訓練
6月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練・肺炎球菌予防接種
7月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練
8月	吸引・手洗い講習 向上研修(感染予防対策、BCP、机上訓練)
9月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練・肺炎球菌予防接種
10月	入居者健診(X-P・心電図・採血・検尿)インフルエンザ予防接種(入居者・職員) ・コロナ予防接種(入居者・職員)
11月	生活習慣病予防健診(全職員)・コロナ予防接種(入居者・職員) ・インフルエンザ予防接種(入居者・職員)
12月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練・インフルエンザ予防接種(入居者・職員)
1月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練
2月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練
3月	吸引・手洗い講習・予防着脱訓練・口腔衛生研修(口腔ケアの目的・口腔ケアの基本的な手順)

総 括

退所者について (28名)

施設での死亡18名(うち看取り11名、急変7名)

看取りの死因は老衰16名、誤嚥性肺炎1名、コロナ感染1名。

病院搬送後に死亡6名、加療継続のため3名が退所。施設での看取り希望であったが死亡確認のため病院搬送者1名。

1) 受診状況

- ・令和5年度は80名から今年度は108名であった。受診科目で一番、多かったのが「その他」で、内容としては救急搬送23件、ペースメーカー外来定期受診、泌尿器定期受診であった。
- ・内科受診は脳神経内科受診3名、定期受診5名、胆管炎・胆嚢炎が5名であった。
- ・整形外科受診は今年度の骨折者2名に加え、骨節後の経過観察が1年近くかかるため、昨年度の骨折者3名も加わり受診回数が増加した。
- ・眼科受診については糖尿病・緑内障の新入居者が多く、定期受診が増えている。
- ・歯科受診については定期健診に伴い、う歯治療、義歯調整が必要となっている。
- ・以上のことから、昨年度に比べ受診状況が増加した要因は、急変に加え定期受診者が多くなっているためと考えられる。

2) 入院状況

入院者数21名、平均入院日数10.9日間

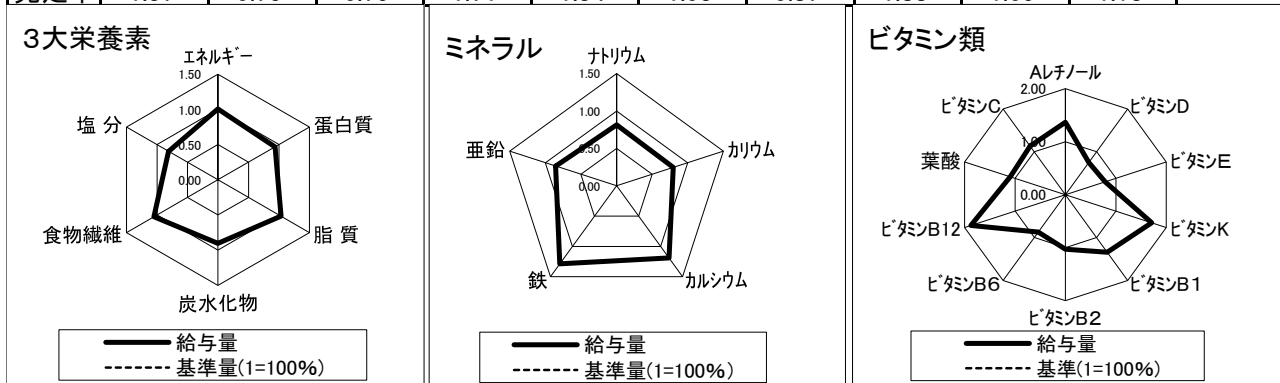
- ・内科入院18名
(胆管炎、胆嚢炎5名、脳疾患3名、コロナ感染1名、インフルエンザ1名、心不全1名、高アンモニア血症1名、腎盂腎炎1名、肺炎1名、その他4名)
- ・外科入院3名 (骨折2名、骨髄炎1名)

14 給食の状況

(令和6年度)

	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂質 g	炭水化物 g	食物繊維 g	塩分 g	ナトリウム mg	カリウム mg	カルシウム mg	鉄 mg	亜鉛 mg
4月	1530	56.7	42.9	218.1	18.4	6.4	2552	1767	718	8.0	6.1
5月	1505	56.1	42.2	216.1	17.1	6.4	2546	1739	711	7.8	6.0
6月	1515	56.3	42.2	216.0	18.4	6.4	2548	1761	695	8.1	5.9
7月	1508	54.2	41.9	214.5	18.0	6.4	2537	1759	656	6.4	6.1
8月	1517	55.8	42.3	216.6	18.0	6.5	2564	1727	745	8.2	5.9
9月	1509	55.6	41.6	216.6	18.0	6.4	2527	1754	681	7.6	5.9
10月	1511	56.1	41.2	217.0	17.7	6.4	2541	1744	217	7.9	5.9
11月	1503	56.5	40.3	217.0	17.9	6.5	2588	1778	698	7.7	6.0
12月	1507	56.6	40.8	216.4	17.3	6.6	2600	1711	667	7.6	5.9
1月	1510	57.4	40.6	217.1	17.6	6.6	2622	1789	700	8.1	6.0
2月	1505	56.2	40.0	218.7	17.9	6.5	2575	1746	666	7.5	6.0
3月	1503	57.1	40.6	216.1	18.0	6.5	2590	1744	703	7.8	6.2
平均	1510	56.2	41.4	216.7	17.9	6.5	2566	1752	655	7.7	6.0
目標	1500	60.0	40.0	240.0	17.0	8.0	3150	2200	550	6.0	7.0
充足率	1.01	0.94	1.03	0.90	1.05	0.81	0.81	0.80	1.19	1.29	0.86

	アルコール 当量 ugRE	ビタミンD mg	ビタミンE mg	ビタミンK ug	ビタミンB ₁ mg	ビタミンB ₂ mg	ビタミンB ₆ mg	ビタミンB ₁₂ ug	葉酸 ug	ビタミンC mg	
4月	780	4	5.1	257	1.54	1.07	0.98	4.6	280	118	
5月	832	4	5.0	265	1.38	1.09	0.96	4.2	262	115	
6月	764	4	5.2	259	1.40	1.17	0.94	4.7	259	106	
7月	820	4	5.2	248	1.22	1.19	0.96	4.2	253	120	
8月	814	4	5.0	252	1.30	1.12	0.94	4.8	258	122	
9月	850	4	5.2	262	1.41	1.20	0.95	3.6	256	111	
10月	797	4	5.1	253	1.35	1.08	0.96	5.0	261	115	
11月	807	5	5.1	251	1.31	1.10	0.96	4.8	260	111	
12月	830	4	4.9	248	1.30	1.18	0.94	4.1	255	107	
1月	835	5	5.5	257	1.31	1.09	0.97	5.1	260	117	
2月	880	4	5.3	266	1.29	1.10	0.96	4.6	267	113	
3月	824	4	5.0	263	1.31	1.16	0.96	4.3	273	106	
平均	819	4	5.1	257	1.34	1.13	0.96	4.5	262	113	
目標	600	6	6.5	150	1.00	1.10	1.10	2.4	240	100	
充足率	1.37	0.75	0.79	1.71	1.34	1.03	0.87	1.88	1.09	1.13	



【年度目標】

(1)「楽しく・美味しく」食べるを検討する。

- ①クックチル方式の食事提供方法が変り問題解決の検討をする。
- ②おやつや水分摂取物品の検討をする。
- ③入居者一人ひとりの身体・嗜好に合わせた食事形態の提供をする。
- ④厨房・ユニットキッチン の衛生管理。

【総括】

- ・毎月、メニューの確認そして調理方法の確認・改善を検討し、美味しい料理の提供ができた。
- ・今年度は、「ユニット家族行事」「ビレッジ秋祭り」の開催が出来て、入居者とご家族と一緒に「楽しく・おいしい」時間を過ごすことができた。
- ・毎月、嗜好及び食事形態の確認の確認をし、適宜変更を行うことが出来た。

(1) 市内地区別利用状況

月 地区	令和6年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
小原地区	8 (4)	55 (37)	7 (5)	38 (25)	4 (3)	33 (21)	8 (6)	75 (52)	5 (4)	47 (35)	5 (4)	46 (33)	5 (4)	46 (33)
藤岡地区	3 (1)	34 (3)	2 (2)	23 (3)	3 (1)	26 (3)	5 (3)	42 (18)	5 (3)	36 (16)	5 (2)	60 (22)	5 (3)	50 (22)
旭地区	1 (1)	3 (3)	4 (4)	6 (6)	2 (2)	7 (7)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	3 (3)	4 (3)	10 (8)
旧豊田地区他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	12 (6)	92 (43)	13 (11)	67 (34)	9 (6)	66 (31)	14 (10)	120 (73)	12 (8)	94 (54)	11 (7)	109 (58)	14 (10)	106 (63)

()内は女性の人数

月 地区	11月		12月		令和7年1月		2月		3月		合 計	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人 員	日 数
小原地区	4 (3)	54 (40)	3 (2)	38 (29)	3 (2)	17 (14)	4 (3)	21 (19)	4 (2)	18 (11)	60 (42)	488 (349)
藤岡地区	3 (2)	22 (7)	4 (3)	27 (10)	3 (2)	15 (7)	2 (1)	24 (3)	2 (2)	6 (6)	42 (25)	365 (120)
旭地区	1 (1)	3 (3)	2 (2)	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	19 (18)	47 (45)
旧豊田地区他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	8 (0)	2 (0)	16 (0)
計	8 (6)	79 (50)	9 (7)	69 (43)	7 (6)	33 (22)	6 (4)	45 (22)	8 (5)	36 (21)	123 (85)	916 (514)

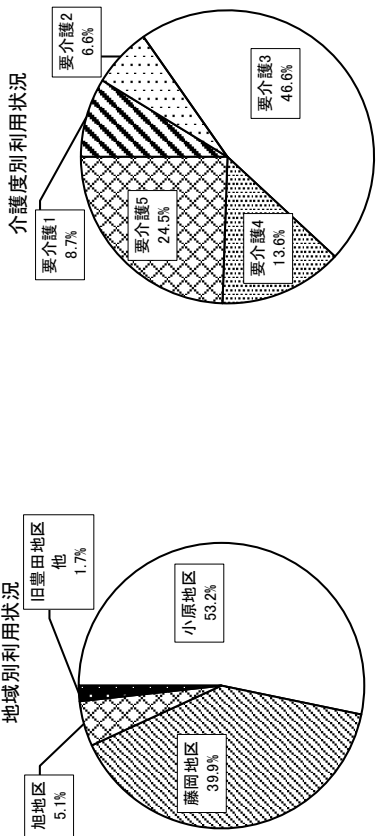
()内は女性の人数

(2) 介護度別利用状況

月 介護度	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		計	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人 員	日 数
要支援1	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
要支援2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
要介護1	3 (3)	4 (4)	7 (7)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	13 (11)	3 (3)	3 (3)	11 (11)	6 (6)	7 (7)	11 (11)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)	80 (78)
要介護2	12 (8)	7 (4)	0 (0)	11 (7)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	5 (5)	8 (0)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)	60 (41)
要介護3	30 (17)	32 (19)	31 (22)	39 (31)	60 (34)	54 (44)	50 (38)	38 (23)	34 (17)	23 (12)	33 (12)	3 (0)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)	427 (269)
要介護4	24 (15)	1 (1)	0 (0)	23 (23)	7 (7)	31 (8)	22 (6)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)	125 (77)
要介護5	23 (0)	23 (2)	28 (2)	35 (0)	17 (0)	18 (0)	21 (8)	31 (17)	24 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)	224 (44)
計	92 (43)	67 (30)	66 (31)	120 (73)	94 (51)	109 (58)	106 (63)	79 (50)	69 (43)	33 (22)	45 (24)	36 (21)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)	916 (509)

()内は女性の人数

- 令和5年度までは小原地区の利用者が約70%を占めていたが、藤岡地区、旭地区の利用者率が増加してゐる。
- 1日平均利用者数は2.5人(前年度4.4人)と昨年より減少している。感染症の発生によるまん延防止の為、受入れを中止した期間があることも要因と思われる。
- 平均介護度は3.38(前年度3.22)と前年度と前年度に続き上昇した。送迎サービスの件数は280件(前年度314件)。
- 実人数は男性10名、女性24名で男性の利用者が増加している。男女比は男性29%、女性71%と前年度に続き女性の割合が増加した。
- 令和6年度は新規の利用契約が多かった。今後利用を定着させ稼働を高めたい。今後も広い地域からサービスを求められる施設として取り組んでいきたい。



16 高齢者グループホームの事業

(令和6年度)

事業目的

介護保険法による要介護認定及び要支援認定を受けた認知症である方が、可能な限り家庭的な環境の中で、自立した生活が継続して営めるよう、サービスの提供を行い支援する。

(1)入居者の状況

①介護度別、年齢別状況

(R7.4.1現在/ 単位:人)

	70歳以上 80歳未満	80歳以上 90歳未満	90歳以上 100歳未満	100歳以上	計
要介護度 1	0	1	1	0	2
要介護度 2	0	0	2	0	2
要介護度 3	0	0	2	0	2
要介護度 4	0	0	0	0	0
要介護度 5	0	0	0	0	0
計	0	1	5	0	6

*入居者全員女性である。

②入院状況 (令和6年度)

月	入院者数	入院日数	月	入院者数	入院日数
4	0	0	10	1	29
5	0	0	11	1	21
6	0	0	12	0	0
7	0	0	1	0	0
8	0	0	2	0	0
9	0	0	3	0	0

(2) 生活状況

①日常生活援助

- ・家庭的な落ち着いた雰囲気の中で、一人ひとりの能力に応じて掃除、洗濯、炊事等を協働し、忘れかけていた生活行動や残存機能を引き出していくことに取り組んでいる。
- ・個々の願いや希望を尊重し、外出や地域行事に積極的に参加する機会を持つことにより、地域との交流を大切にしている。
- ・家族との連携を密にしながら信頼関係を保ち、ご協力いただきながら生活の安定を図っている。
- ・認知症による周辺症状を低減するため、ご本人の生活リズムを把握し、一人ひとりに適した対応を継続することで、穏やかな日常が過ごせるよう支援している。

②余暇活動

- ・利用者の年代に合った生活や歌(特に唱歌)、本読み(民話や昔話)等を取り入れて、生き生きとした生活を過ごせるよう支援している。
- ・季節に応じた企画を実施し、いろいろな選択肢の中から趣旨に合う行事への参加、娯楽活動向上を実践している。

③一日の流れ (概ねの時間帯であり、その人に合った援助を行なっている)

時 間	生 活	余暇活動
7:00	起 床	洗 濯
	朝食準備	掃 除
8:00	朝 食	片 付 け
	健康チェック	
9:00	お参り	洗濯物干し
9:30	体 操 (各種)	
	新聞(本日のニュース)	回想法、音楽
10:00	歩行訓練	創作活動
	おやつ	畑、園芸作業
	入浴	水撒き
11:00	昼食準備	
12:00	昼 食	片 付 け
	休 憩	
14:00	健康チェック	散 歩
	体 操	買 い 物
15:00	入 浴	シーツ交換
	おやつ	創作活動
	活 動	畑、園芸作業
	夕食準備	洗濯物たたみ
18:00	夕 食	
20:00	談 話	
21:00	就 寝	

生活動作		
炊 事	食材準備	役割分担
	食事調理	役割分担
	盛り付け	役割分担
	配 膳	役割分担
	食器洗い	役割分担
掃 除	自室	個々
	食堂	役割分担
	廊下	役割分担
	手摺り	役割分担
洗 濯	洗濯	役割分担
	干す	役割分担
	取り込む	役割分担
	たたむ	全 員

共同生活において、役割意識を高めていただくため、炊事や洗濯については、個々に応じて役割を提供し、その人の能力を活かすよう取り組んでいる。

また、日常生活の中で、常に利用者が主体となり、自己決定能力向上の促進を図っている。

(3) 面会、外出、外泊の状況（令和6年度中 在籍者数8名）

（年度単位:延回数）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分	面会	14	13	12	15	29	19	14	19	15	5	13	17	185
	外出	7	7	6	7	6	9	3	5	0	1	0	0	51
	外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

(4) 身元引受人状況（R7.4.1 現在）

区分 性別	配偶者	子	子の配偶者	兄弟姉妹	甥 姪	その他	計
男	0	2	0	0	0	0	2
女	0	3	1	0	0	0	4
計	0	5	1	0	0	0	6

(5) 令和6年度 活動内容

家庭的で安心できる馴染みの空間で、仲間と活動することにより、一人ひとりのペースで穏やかな日々を過ごすことができた。生活の中で、一人ひとりの「出来ること」に着目し、家事等での役割を中心に、自立した生活を送ることができるよう支援している。

今年度も食事は前日に配達される食材をもとに、3食をグループホーム内にて、ご利用者と共に調理している。また、ホーム周辺で採れた山菜や、うぐいす農園で収穫した野菜を食卓に並び、旬の食材で季節感を味わいながら、楽しい雰囲気作りを工夫した。

季節の行事（流しそうめん、スイカ割り、節分会等）や、小原福祉ビレッジ秋祭りとグループホームの秋の行事（食事会、ミニ運動会）開催時にはご家族を招くことができ、ご利用者、ご家族共に楽しんでいただくことができた。

主な行事・活動内容等

月	行事・活動内容	月	行事・活動内容
4	鯉のぼり制作	10	小原福祉ビレッジ秋祭り
5	うぐいす農園	11	おばらンピック(家族行事)
6	うぐいす農園(玉ねぎ収穫)	12	クリスマス会・飾りつけ
7	流しそうめん・スイカ割り	1	新年会・創作活動(節分)
8	盆供養	2	節分会
9	敬老会	3	ひな祭り会・お花見ドライブ

17 在宅福祉サービス 認知症対応型通所介護

(令和6年度)

(1) 目的

少人数による家庭的な環境の中で、日常生活上の介護及び自立支援サービスを提供する。

(2) 対象

旧小原地域内で当該施設より約10km以内に居住し、要介護者であって認知症の診断を受けている高齢者。

(3) 令和6年度利用実績

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
項目	稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359
	受入可能数	90	93	90	93	93	90	93	90	84	84	84	93	1077
項目	延べ受入数	20	24	22	32	27	29	32	31	28	37	37	44	363
	1日平均利用数	0.7	0.8	0.7	1.0	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.3	1.3	1.4	1.01
項目	入浴支援数	16	20	16	25	20	25	27	30	28	28	27	31	293
	実利用人数	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	34
項目	新規受入数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	要介護度別													
要介護度別	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	要介護2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	要介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
	年齢別													
年齢別	80歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	80歳以上 90歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	90歳以上 100歳未満	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
	100歳以上	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11

(4) 考察

平成28年度より開始した9年目の事業で、平成29年より介護予防事業も開始している。少人数であるため、集団レクリエーションを苦手とする方や、認知症の症状により対応が困難である方に対して、手厚いサービスを提供できることが強みとなっている。また、グループホーム内に日中のみ新しい風が舞い込むことで、地域の話題で会話が弾み、デイサービスご利用者とグループホームご利用者の双方に良い影響となっている。

日曜祝日も営業し、他の通所介護事業所に比べ利用料も安価で、多く利用していただけるため、馴染みの関係を構築するに相応しい事業所となっている。デイサービスをご利用のご家族からも、慣れた環境で継続したサービスを希望されるため、グループホームの入居の申し込みに関がっている。

18 各種委員会等活動報告

(令和6年度)

N o	委員会等名	主な活動報告
1	身体拘束適正化委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回委員会を開催し、身体拘束等の現状確認をし、委員会の検討内容の周知を行った。 ・身体拘束等の適正化のための研修を2回行った。
	虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・6月と12月に委員会を開催した。 ・虐待の芽チェックシートを使ってアンケートを実施した。 ・「不適切ケア」について検討と高齢者虐待の種類や内容についての研修を行った。
	OLSP委員会 OBARA・LIFE・SUPPORT・PROJECT	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内で特定技能、技能実習生についての情報の共有を行った。 ・買い物支援を各ユニットに振り分け月2回実施した。 ・管理会社との面談等調整。内容を共有し改善に当たった。 ・法人外国人雇用促進委員会の内容の報告を行った。主催の交流会への参加について協力を仰ぎ、全員参加することができた。
5	地域貢献委員会 (ハチドリ含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・小原西ふれあいサロンの参加や地域行事への開催協力を募った。 ・地域貢献活動が参加しやすいようにマニュアルを配布した。 ・ハチドリ推進委員が中心となり、①立哨活動をはじめとする地域貢献活動に参加します。②回収ボランティアに積極的に取り組みます。を掲げて話し合いを行い取り組むことが出来た。
6	生産性向上委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が生産性向上の取り組みを厚生労働省の説明動画をみて理解を行った。 ・資料配布やアンケートから何を行うかを検討した。 ・5S活動 PJを立ち上げ職員に協力依頼しメンバーを募り計画をたて各ユニットのステーションの整理整頓と個人ファイルの整理に取り組み使用しやすくなった。 ・ICT導入にむけて機器展への見学、デモ機を使用し来年度の導入準備を行った。
7	衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断、メンタルヘルスチェックを実施し職員の心身の健康保持に努めた。 ・職場環境、業務改善の行動宣言「休憩時間をきちんと取ろう」、各ユニット毎のスローガンを掲示し周知した。 ・熱中症対策として水分提供や摂取を呼び掛け、熱中症0で過ごすことができた。 ・5S活動の一貫として年2回洗濯槽清掃、定期的に汚物室、洗濯室の清掃を実施した。 ・過重労働防止、年次休暇の取得等管理、検討を行った。
8	CM(ケアマネ)委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「新LIFE」のフィードバック情報を多職種で共有/分析し、施設サービス計画書の作成、見直しをできる体制作りを行った。また、情報提供のマニュアルを作成した。 ・ほのぼのを使用して24時間シートの作成した。更新頻度を決めて継続できるようにした。 ・奥田先生に助言をもらい、新アセスメントシートの作成を行った。 ・年2回外部講師を招きICF研修を行った。
9	介護事故防止検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・事故減少に向け、ヒヤリハット強化月間を年間3か月実施。 ・重大事故に対しての振り返り、及び対応策を全ユニットへ周知を行う。 ・介護事故防止に向けた研修を年2回実施した。
10	食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・年間目標である「楽しく・おいしく食べる」を委員会では毎月検討を行った。 ・今年度からクックチルの導入で、食事の提供方法が今までと変わり、ユニットで調理(温め)・配膳することとなり、問題等の確認及び連絡を毎月の委員会で検討を行った。 ・特別な食事や行事食は、各ユニットの家族行事でいつもと違う食事の提供やビレッジ秋祭りではご家族にも参加していただき一緒に楽しんでいただけた。
11	コンチネンスケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄では下剤の使用を減らす、オムツゼロ、排泄に関する取り組みでは、入居者の下剤の使用状況の確認、排泄介助等の確認を行った。 ・オムツ発注書の見直し、発注手順書の作成を行った。 ・毎月、褥瘡者の確認を行い、対応策の検討をし、予防及び悪化を防ぐことができた。
12	看取りケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りケア指針・パンフレットの適宜見直しを行った。 ・看取りカンファレンスの流れを新しく作成した。 ・盆供養の開催した。 ・看取り時に使用する口腔ケアセットを常に安立で保管できるように一連の流れを変更した。 ・2ヶ月に1回、家族室と仮安置室の清掃を行った。
13	防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼリー・ペースト食を含む防災食の期限を確認し、期限が迫ったものを更新した。 ・カセットボンベ式発電機の訓練を行い、使用法の周知を行った。 ・消防器具と非常用発電機の点検を行った。 ・防災訓練、通報訓練および応急手当講習を計画どおりに実施した。
15	施設看護業務改善委員会 医行安全対策委員会 感染症・褥瘡予防対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しを行い投薬ミスを防ぐようにチェックシートを使用し再発予防を行った。また、誰もが入居の受け入れができるように書類、説明用紙等の見直しを行った。 ・入居者の支援に役立てる高齢者の特徴、薬、疾患等の勉強会用に資料「Health News」作成し勉強会を行った。 ・褥瘡予防対策指針・褥瘡のハイリスク者に対する予防に係るマニュアルの変更を行った。 ・予防接種(コロナ・肺炎球菌・インフルエンザ)を行った。入居者健診を行った。 ・緊急時・感染のシミュレーション、BCP、机上訓練、BCPの見直しを行った。 ・介護員による喀痰吸引2号研修に1名合格した。

19 職員種別会議、研修参加状況

(令和6年度)

(1) 特別養護老人ホーム関係

施設長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	7月12日	昭徳会	経営管理者研修①	法音寺	
2	8月28日	名北労働基準協会	労働実務総合研修	名北労働基準協会	
3	9月12日	厚生労働省	LIFE説明会	Web	他9名
4	10月5日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他2名
5	10月22日	昭徳会	メンタルヘルス研修	法音寺	他4名
6	11月5日～	全国老人福祉施設協議会	職場環境づくりに関する研修	Web	他12名
7	11月21・22日	全国老人福祉施設協議会	全国老人福祉施設大会・研究会議	びわ湖大津プリンスホテル	他1名
8	12月4日	プティックス株式会社	ケアテック名古屋	吹上ホール	他5名
9	12月24日～	県社協、経営委員会・社会福祉施設委員会	カスタマーハラスメント対応研修	Web	
10	2月14日	高浜安立荘	アンガーマネジメント研修	いきいき広場	他1名
11	2月17日～	全国老人福祉施設協議会	介護施設における法律事務研修	Web	
12	2月18日	日本福祉大学	日本福祉大学提携社会福祉法人サミット	Web	他2名
13	2月24日	日本福祉大学	福祉実践発表会	日本福祉大学	他2名

業務課長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月10日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
2	8月29日	昭徳会	メンタルヘルス研修	法音寺	他4名
3	8月30日	昭徳会	専門研修	小原安立	他7名
4	9月12日	厚生労働省	LIFE説明会	Web	他9名
5	10月3・4日	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	国際福祉機器展	東京ビックサイト	他2名
6	10月8日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他9名
7	11月5日～	全国老人福祉施設協議会	職場環境づくりに関する研修	Web	他12名
8	11月17日	豊田市	コミュニケーション力向上研修	豊田市福祉センター	他1名
9	12月21日	やまむら総合歯科	お口から健康を考える会	やまむら総合歯科	他1名
10	2月18日	日本福祉大学	日本福祉大学提携社会福祉法人サミット	Web	他2名
11	1月16日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他5名
12	3月12日	厚生労働省	生産性向上推進フォーラム	Web	他9名
13	3月14日	愛知県老施協	愛知県老人福祉施設大会	ウインクあいち	他5名

管理課長

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月10日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
2	7月12日	三九郎病院	とよた嚥下食の〇研修会	三九郎病院	
3	8月29日	昭徳会	メンタルヘルス研修	法音寺	他4名
4	8月30日	昭徳会	専門研修	小原安立	他7名
5	9月12日	厚生労働省	LIFE説明会	Web	他9名
6	10月4日	昭徳会	専門研修	小原交流館	他6名
7	10月5・6日	日本栄養士会	栄養士会災害支援チームリーダー 育成研修	石川県地場産業振興センター	
8	10月8日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他9名
9	11月5日～	全国老人福祉施設協議会	職場環境づくりに関する研修	Web	他12名
10	12月2日	日本栄養士会	栄養士会災害支援チームリーダー 育成研修	Web	
11	12月3日	昭徳会	栄養士研修会	高浜市いきいき広場	他1名
12	12月4日	プティックス株式会社	ケアテック名古屋	吹上ホール	他5名
13	1月16日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他5名
14	2月14日	名古屋大学減災連携研究センター	非常時の電源エネルギーについて	名古屋大学減災連携研究センター	
15	3月12日	厚生労働省	生産性向上推進フォーラム	Web	他9名
16	3月12日～	全国老人福祉施設協議会	経営戦略セミナー	Web	他1名

生活相談員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	5月24日～	全国老人福祉施設協議会	安全対策担当者養成研修	Web	2名
2	7月24日	昭徳会	エキスパート研修	法音寺	他1名
3	10月4日	昭徳会	専門研修	小原交流館	他6名
4	10月5日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他2名
5	12月4日	ブティックス株式会社	ケアテック名古屋	吹上ホール	他5名
6	12月12・13日	ウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社	WJU勉強会	野村コンファレンスプラザ新宿	
7	1月31日	昭徳会	SDGsカードゲーム研修会	小原寮	2名他5名
8	3月12日	厚生労働省	生産性向上推進フォーラム	Web	他9名
9	3月14日	愛知県老施協	愛知県老人福祉施設大会	ウインクあいち	他5名
10	3月24・25日29日	昭徳会	新任職員研修①	法音寺	他5名

事務員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	10月8日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他9名
2	1月16日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他5名
3	2月12日～	厚生労働省	BCP策定後の研修及び訓練に関するオンデマンドセミナー	Web	
4	2月19日	昭徳会	防災・減災研修会	泰山寮	
5	3月12日	厚生労働省	生産性向上推進フォーラム	Web	他9名
6	3月12日～	全国老人福祉施設協議会	経営戦略セミナー	Web	他1名

栄養士

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	12月3日	昭徳会	栄養士研修会	高浜市いきいき広場	他1名
2	12月4日	ブティックス株式会社	ケアテック名古屋	吹上ホール	他5名
3	1月19日	日本コンチネンズ協会	楽しい軽運動でしなやかな心とコンチネンズ	Web	他1名
4	1月26日	日本コンチネンズ協会	心地よい排便のための知識と技術	Web	他1名

看護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	8月30日	昭徳会	専門研修	小原安立	他7名
2	9月12日	昭徳会	初任者研修②	ウインクあいち	他1名
3	12月21日	やまむら総合歯科	お口から健康を考える会	やまむら総合歯科	他1名
4	1月19日	日本コンチネンズ協会	楽しい軽運動でしなやかな心とコンチネンズ	Web	他1名
5	1月26日	日本コンチネンズ協会	心地よい排便のための知識と技術	Web	他1名
6	3月14日	愛知県老施協	愛知県老人福祉施設大会	ウインクあいち	他5名

介護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	4月30日	昭徳会	新任役職者研修	ウインクあいち	
2	5月10日	昭徳会	監督者研修	法音寺	他2名
3	6月11日	昭徳会	GL研修	法音寺	4名他1名
4	6月13日	豊田市介護保険課	現任介護職員研修	豊田市福祉センター	
5	6月28日	昭徳会	初任者研修③	法音寺	2名
6	7月10日～	県社協	認知症実践者研修	ウインクあいち	
7	7月24日	昭徳会	エキスパート研修	法音寺	他1名
8	8月10日～		自閉症eサービス研修	米原市役所	
9	8月22・23日	県社協	福祉器具キャリアパス対応生涯研修	愛知県社会福祉協議会	
10	8月29日	昭徳会	メンタルヘルス研修	法音寺	3名他2名
11	8月30日	昭徳会	専門研修	小原安立	5名他3名
12	9月12日	厚生労働省	LIFE説明会	Web	5名他4名
13	9月12日	昭徳会	初任者研修②	ウインクあいち	他1名
14	9月20日	昭徳会	承認研修	法音寺	
15	10月3・4日	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	国際福祉機器展	東京ビックサイト	2名他1名
16	10月4日	昭徳会	専門研修	小原交流館	5名他2名
17	10月5日	昭徳会	福祉セミナー	法音寺	他2名
18	10月8日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	6名他4名
19	10月11日	昭徳会	初任者研修①	法音寺	3名
20	10月13日		RX組研修	ゆたかの郷	
21	10月22日	昭徳会	メンタルヘルス研修	法音寺	3名他2名
22	11月5日～	全社協	職場環境づくりに関する研修	Web	10名他3名
23	11月8～1月29日	日本福祉大学	喀痰吸引等研修	日本福祉大学福祉総合研修センター	1名
24	11月15日	昭徳会	初任者研修③	法音寺	2名
25	11月17日	豊田市	コミュニケーション力向上研修	豊田市福祉センター	他1名
25	11月21・22日	全国老人福祉施設協議会	全国老人福祉施設大会・研究会議	びわ湖大津プリンスホテル	他1名
26	12月4日	ブティックス株式会社	ケアテック名古屋	吹上ホール	2名他4名
28	12月18日	県老施協	介護技術研修	日本福祉大学	3名
29	1月16日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	2名他4名
30	1月17日	県老施協	介護技術研修	日本福祉大学	
31	1月25日	日本介護福祉士会	技能実習指導員講習	桜華会館	
32	1月31日	昭徳会	SDGsカードゲーム研修会	小原寮	4名他3名
33	2月3日	昭徳会	SDGsカードゲーム研修会	地域交流センター	2名
34	2月4日	愛知県労働協会	業務マニュアルセミナー	ウインクあいち	他1名
35	2月8日	豊田加茂医師会	豊田加茂ウェルビーイングネットワーク特別講演	豊田加茂医師会	2名
36	2月10日	愛知県高齢福祉課	外国人介護人材受け入れセミナー	ウインクあいち	2名
37	2月14日	高浜安立荘	アンガーマネジメント研修	いきいき広場	他1名
38	2月18日	日本福祉大学	日本福祉大学提携社会福祉法人サミット	Web	他2名
39	2月20日	愛知県高齢福祉課	指導担当職員特化型セミナー	岡崎市民会館	
40	2月20日	愛知県介護福祉士会	外国人介護従事者の指導者サポート研修	Web	
41	2月20日	県老施協	介護技術研修	日本福祉大学	
42	2月24日	日本福祉大学	福祉実践発表会	日本福祉大学	1名他2名
43	3月12日	厚生労働省	生産性向上推進フォーラム	Web	5名他5名
44	3月14日	厚生労働省	LIFE説明会	Web	1名他1名
45	3月14日	愛知県老施協	愛知県老人福祉施設大会	ウインクあいち	3名他3名
46	3月24・25日29日	昭徳会	新任職員研修①	法音寺	3名他3名

(2) 高齢者グループホーム関係

介護員

	開催期間	主催者	研修名	開催場所	備考
1	6月11日	昭徳会	GL研修	法音寺	他4名
2	8月30日	昭徳会	専門研修	小原安立	他7名
3	9月19日	豊田市介護保険課	現任介護研修	豊田市福祉センター	
4	10月8日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	他9名
5	10月22日	昭徳会	メンタルヘルス研修	法音寺	他4名
6	12月2日～	全社協	入浴介助加算に関する研修	Web	9名
7	1月10日～	認知症GH協会	GHケア実践士ブロンズ級	Web	
8	1月16日	昭徳会	管理会計研修	法音寺	1名他5名
9	1月31日	昭徳会	SDGsカードゲーム研修会	小原寮	他6名
10	2月4日	愛知県労働協会	業務マニュアルセミナー	ウイंकあいち	他1名
11	2月24日	日本福祉大学	福祉実践発表会	日本福祉大学	他2名
12	3月12日	厚生労働省	生産性向上推進フォーラム	Web	他9名
13	3月14日	厚生労働省	LIFE説明会	Web	1名
14	3月24・25日29日	昭徳会	新任職員研修①	法音寺	2名他4名

20 防災対策状況

(令和6年度)

実施日	実 施 内 容	実施結果 (所要時間)	参 加 者
6月18日	小原福祉ビレッジ3施設合同避難訓練・消火訓練・通報訓練	30分	入居者 81 名 職員 25 名
10月21日	法人防災訓練（炊き出し・職員安否確認通報訓練） 小原福祉ビレッジ3施設合同総合避難訓練・消火訓練	240分	入居者 79 名 職員 30 名
12月6日	防災BCP研修	60分	入居者 0 名 職員 22 名
2月21日	避難訓練（夜間想定）	30分	入居者 39 名 職員 6 名
年3回	普通救命講習（AED使用法・胸骨圧迫など）	各3時間	入居者 0 名 職員 26 名

参考

防災訓練の実施（小原安立防災要領 第20条）

訓練種目	訓 練 内 容
通報訓練	消防署及び、非常連絡網により訓練する
消火訓練	消火器の取扱を習得し、消火の基本を訓練する
避難訓練	夜間訓練を含む避難訓練を実施する
救急訓練	蘇生訓練等及び怪我の応急措置等について訓練する
総合訓練	消火、通報及び避難誘導等を連携して実施する

※ 避難訓練及び消火訓練は年2回以上、その他の訓練は年1回以上実施する。

21 令和6年度 事業報告(小原安立)

1. 根拠に基づいた高品質な個別ケア・サービスの提供

- 1)介護データベース「LIFE」からのフィードバックデータを多職種で協議することで、医療面等、専門的視点からの意見が聴取できるようになり、特に食事量や体重減少に対しては早期対応が求められることから、必要であればケアプランへ反映するサイクルが構築されています。
- 2)今年度より基本サービスとなった、「口腔衛生管理」について、歯科衛生士による指導や、歯科医師による義歯の調整等が行われたことにより、口腔ケアに対する職員意識が高まったことと、栄養ケアマネジメントの推進により、低栄養による健康リスクの高い利用者割合が、取り組み始めた昨年よりも減少しております。しかし入院日数については、感染症（インフルエンザ、コロナ）の発生により、昨年の延べ20名（291日）より37名（403日）と増加する結果となりました。
- 3)満足度調査を実施し回収率68.6%（昨年度83.5%）、総合評価（ほぼ満足、満足）の構成割合38.9%（昨年度63.6%）の結果となりました。面会減少により総合評価の未回答割合の増加が要因となっています。自由記述で感謝のお言葉をいただく一方で、環境整備や職員人数について不満足のご意見を頂戴いたしました。

2. 人材確保及び定着化に向けた研修、労働環境の改善

- 1)認定特定行為業務(喀痰吸引)従事者研修（1名）、コンチネンスケアワーカー研修（2名）、認知症介護実践者研修（1名）、技能実習指導者関係研修（3名）、ICF視点の施設サービス計画作成に係る研修（10名）、国際福祉機器展（9名）、労働実務総合講座（1名）、豊田市現任介護職員研修（2名）、安全対策担当者養成研修（2名）の外部研修及び施設内の各種研修に職員が参加しました。
- 2)各種マニュアルについて各委員会において、「移乗・移動」「食事・口腔ケア」「体位交換」「入浴・衣類の着脱」について作成、見直しを行いました。
- 3)高齢分野の法人専門研修実施担当施設として、8月に「認知症をもつ利用者の真のニーズを考える（来島修志先生）」10月に「介護福祉のための人材マネジメント【選ばれる施設】になるために（松山純子先生）」を開催し、高齢分野職員延べ30名が参加しました。日本福祉大学から講師派遣を受け、研修後に施設見学をするなど交流を図りました。
- 4)全体職員会議の開催回数を増加(年5回)し、法定研修である、①法令遵守、②感染症、③身体拘束廃止、④虐待防止、⑤食中毒、⑥認知症ケア、⑦プライバシー保護、⑧介護事故防止、⑨災害、感染症BCP、⑩看取りケア、⑪精神的ケア、⑫接遇研修をオンデマンド講座や、職員が講師になり実施しました。
- 5)勤怠管理システムにおける超過勤務承認作業を円滑に進めるため、承認作業機能を1台から3台のPCに追加し、12月支給分からの、給与社会保険業務の法人本部事務局実施移行へ対応をしました。
- 6)生産性向上委員会を4月より開催し、ICT機器の導入に向けて、複数業者による実演や「課題発見アンケート」を実施。その中から、事業所の課題として「目の行き届かない場所での異常発見の困難さを改善したい」「夜間業務の精神的・肉体的疲労の軽減を図りたい」「通常業務の効率化」等の課題解決に向けて機器の選定を進めていきたいと思っております。

3. 事業継続の観点から健全な経営を目指す(稼働目標 入所97% 居宅75%)

- 1)経年劣化等による設備修繕として、屋上防水については、来年度「介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援」において行う予定として、補助金活用の意向調査に回答するとともに、雨漏りが発生した部分についての修繕にとどめました。カーテン、居室ベッド等の修繕については、空調機域の不具合、井水量水計の予期せぬ更新が発生し、来年度実施することにいたしました。
- 2)本年度より食事提供体制を調理済み食材の購入に切り替え提供を開始しました。介護職員による盛り付け作業等、新たな業務が発生しておりますが、栄養士はじめ現場介護員の業務改善により大きな混乱なく移行できました。
- 3)ホームページの更新については、ブログ記事掲載にとどまり、更新することができませんでしたが、検索サイトであるGoogleビジネスプロフィールにおける、施設の写真について「ストリートビュー機能」を追加し、施設内の様子が見やすいように整備しました。
- 4)特養の稼働率については、退所者28名に対して新入所者が22名であり、退所者に対して新入所が追いついていない状況が続いており88.8%と目標である97%とは大きな開きがあります。入居待機者が居宅サービス(通所、短期入所)と重複しているため、通所33.7%、短期入所41.7%と低い状態が続いています。近隣の居宅介護支援事業所だけではなく市街地、病院などへの呼びかけを継続して行っています。

4. 地域に喜ばれる活動を通じて社会福祉法人としての価値向上を図る

- 1)地域貢献活動として、小原地区で開催される介護予防自助グループ「よつばゲンキーズ」や、交通立哨活動、小原スポーツ大会等の活動に延べ62名の職員が参加しています。また、回収ボランティア(リユース品回収、フードドライブ)活動にも延べ46名の職員が関わりました。
- 2)施設内行事を各グループ(2ユニットおよびグループホーム)で企画し、延べ87名のご家族をお招きした食事及び催し会(バーベキュー、仕出し弁当、菓子まき、運動会等)を開催し親睦を深めました。

5. 事業継続管理に向けた、災害低減対策の推進

- 1)職員会議内の勉強会を活用して感染症BCP(集団感染)を想定した防護服着脱及びゾーニングの訓練を行いました。
- 2)介護報酬改定に伴い、医療機関との連携強化については、求められている「入所者の現病歴など情報共有する方法や、会議の開催」に関する取り決めを、参画している豊田市特別養護老人ホーム施設長協議会を通じて、豊田加茂医師会と協議、決定した内容で、現協力医療機関である「豊田地域医療センター」と協定関係を継続していくことになりました。

